



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

京都大学基礎物理学研究所教授

1. 教授・1名
2. (1) 京都大学基礎物理学研究所
(2) 京都市
3. 宇宙物理学（理論）
5. (1) 着任時期、決定後早期
(2) 任期、特に設けない
(少なくとも5年程度は本研究所に在職し、15年程度経過した後は異動することが推奨される)
7. ○履歴書 ○発表論文リスト（主要論文5点以内に印） ○研究歴（研究成果の説明） ○就任した場合の研究計画 ○着任可能時期 ○主要論文（発表論文リストで印を付けた論文のpdfまたはアーカイブ番号を指定） ○他薦の場合はさらに推薦書
8. 2014年3月31日(月) 必着
9. (1) ap.jinji@yukawa.kyoto-u.ac.jp
推薦書のみ郵送可：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学基礎物理学研究所長 佐々木 節宛
(2) 同研究所 藤田裕子
TEL: 075-753-7009
E-mail: fujita@yukawa.kyoto-u.ac.jp
10. e-mailの件名は「宇宙物理学教授応募」と記載。詳細は、<http://www.yukawa.kyoto-u.ac.jp/contents/info/detail.php?NID=195>

大阪大学大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻 実験的宇宙地球化学・助教

1. 助教1名（任期なし）
2. (1) 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻
(2) 大阪府豊中市
3. 実験的宇宙地球化学
4. 応募資格を参照のこと。
5. (1) 決定後、できるだけ早い時期
(2) 任期なし
6. 以下の条件を満たす方。
(1) 次世代質量分析装置の基礎開発・保守管理、および同装置を用い宇宙物理と地球化学の学際領域研究を推進したい方。
(2) 物理的素養をもち、学生の教育・指導に熱意のある方。
(3) 着任時に博士の学位を有する方。
7. (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト、(3) 主要論文の別刷（コピー可）3編以内（研究業績リストに○印を付して下さい）、(4) これまでの研究内容（A4用紙1枚程度）、(5) 着任後の研究・教育に関する抱負（A4用紙1枚程度）、(6) 意見を聞ける方の連絡先（2名程度）
8. 平成26年3月31日(月) 必着
9. (1) 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1
大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻 常深博宛
(2) 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻 寺田健太郎
Tel: 06-6850-5495 Fax: 06-6850-5480
e-mail: terada@ess.sci.osaka-u.ac.jp
当専攻のホームページ: <http://www.ess.sci.osaka-u.ac.jp/>
10. 封筒に「助教公募書類」と朱書きし、書留または簡易書留で送付のこと。応募書類は返却いたしません。
11. 大阪大学では男女雇用機会均等法の精神を尊重し、男女共同参画の推進に取り組んでいます。女性の積極的な応募を歓迎します。

国立天文台研究教育職員 (TMT 推進室)

1. 准教授1名
2. (1) 国立天文台TMT推進室
(2) 東京都三鷹市(米国カリフォルニア州パサデナへの長期出張あり)
3. 天文学及び関連分野
4. 国立天文台TMT推進室は、国際共同科学事業として、ハワイ島マウナケア山頂に口径30mの超大型望遠鏡TMTを建設することにより、日本の研究者がTMTを使った研究で世界的な成果を挙げることを目指している。日本が担当する望遠鏡本体は、主鏡・副鏡・第三鏡、ドーム、観測装置など20以上のサブシステムと組み合わせて、望遠鏡統合システムを構成するものであり、その設計・検討においては、インターフェース条件を明確にするとともに、システム全体の整合性を注意深く見渡すことが肝要である。この作業は国内関連企業および米国カリフォルニア州パサデナに本拠を置くTMT国際天文台との綿密な協議のもと進める必要がある。TMT推進室では、望遠鏡本体のシステムエンジニアリングを中心的職務とし、各サブシステムを担当する研究者や技術者との緊密な議論を主導する准教授1名を幅広く公募する。稼働中の大型望遠鏡システムについて熟知し、将来の保守・運用も視野に入れたシステム設計を進める力量と経験が望まれる。また、関係する国際メンバーと良好な協力関係を構築し維持する一方で、しっかり国立天文台の立場を発信できるコミュニケーション能力と英語力をもつ方を期待する。
5. (1) 着任時期決定後なるべく早い時期
(2) 任期 なし
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書(写真貼付)、(2) 論文リスト、(3) 研究歴(システムエンジニアリングの実績)、(4) 今後の職務に関する計画書、(5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
8. 2014年4月30日(水)17時必着(日本時間)
9. (1) 応募書類はapply-tmt-associate20140430@nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台TMT推進室室長 臼田知史
Tel:0422-34-3522 e-mail: usuda@naoj.org
10. すべての応募書類(上記7.の(1)~(5))はそれぞれPDFファイルに変換し、メールに添付すること。(各書類をまとめて一つのPDFファイルに

しないこと。また、ZIPファイルに入れたり圧縮したりしないこと。)

- PDFは解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること(10MB程度まで)。
 - 応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします。それが届かない場合には、apply-tmt-associate20140430@nao.ac.jpへお問い合わせ下さい。
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://jouhoukouai.nao.ac.jp/danjokuyodo/>をご覧ください。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

首都大学東京大学院理工学研究科助教

1. 2013年9月(第106巻第9号)
2. 山田真也(理化学研究所基礎科学特別研究員)
3. 2014年4月1日

賞の推薦

2014年度地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「進歩賞」候補者の募集

下記のように「三宅賞」と「進歩賞」の候補者募集案内がありました。

日本天文学会推薦を希望される方は、2014年7月31日までに申請書類をお送りください。

- 送付して頂く書類(メールの添付ファイルでお願いします)

推薦書:(ワードファイルでお願いします)

主な論文:(pdfでお願いします)

- 送り先: jimuj@asj.or.jp

- 日本天文学会の締め切りは、2014年7月31日必着です。

***** 募集案内 *****

2014年度地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「進歩賞」候補者を募集します。当協会会員および関連諸学会会員によるご推薦のいずれでもお受けしま

す。下記の要領でご応募ください。

地球化学研究協会理事長 兼岡一郎

1. 三宅賞

対 象：地球化学に顕著な業績を上げた研究者

表彰内容：賞状、副賞として賞牌および賞金30万円、毎年1名

2. 進歩賞

対 象：1974年4月2日以降に生まれた方で、地球化学の進歩に優れた業績を上げ、将来の発展が期待される研究者

表彰内容：賞状および賞金10万円、毎年1~2名

3. 応募方法：地球化学研究協会のホームページからダウンロードした申請書に、略歴・推薦理由・研究業績などを記入し、主な論文10編程度（三宅賞）、2編程度（進歩賞）を添えて、下記の宛先へ送付してください。応募書類等は三宅賞および進歩賞選考のためにのみ用いられます。

4. 締切日：2014年8月31日（必着）

地球化学研究協会ホームページ：

<http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~e881147/Geochem/index.html>

応募書類送付先：〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5

三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部公益信託グループ

（公益信託）地球化学研究基金 伊藤幸雄

問合せ：電子メールで下記アドレスへお願いします。

E-mail: eitaro1939@yahoo.co.jp

または：t-sagi@m3.gyao.ne.jp

研究会・集案案内

国立天文台野辺山宇宙電波観測所 「電波天文観測実習」の参加者募集

国立天文台野辺山宇宙電波観測所では、45 m電波望遠鏡を使った「電波天文観測実習」を行います（総合研究大学院大学「夏の体験入学」）。当観測所は、45 m望遠鏡、10 mサブミリ波望遠鏡（南米チリ）を用いて多数の星間分子の発見、原始惑星系ガス円盤の検出、銀河中心にある巨大質量ブラックホールの発見など数多くの重要な研究成果を上げています。この「電波天文観測実習」は、天文学に関心をもつ大学生の皆さんに研究の最前線で活躍中の45 m望遠鏡を使った観測実習を通して、電波天文学の実際に触れていただくのが

ねらいです。参加者には普段研究者が行っている45 m望遠鏡の操作、データ取得・解析、結果のまとめをしていただきます。特に専門知識は必要ありませんが、大学で物理実験を経験していることが望ましいです。関心をお持ちの多くの方のご応募をお待ちしています。

1. 開催日程：2014年6月2日（月）13:30~6月6日（金）11:30（4泊5日）

2. 場 所：国立天文台野辺山宇宙電波観測所（JR小海線野辺山駅から徒歩40分）

3. 定 員：8名程度

4. 対 象：大学の理科系学部（教育学部の理科系も含む）に属する学生（1~4年生）

5. 費 用：旅費・滞在費がサポートされる可能性があります

6. 応募方法：住所、氏名（ふりがな）、所属大学および学部・学科、学年、年齢、性別、電話番号、E-mailアドレス（持っている場合）を明記の上、以下の(1)~(4)に回答し、4月25日（金）必着で下記の応募先まで送付してください。なお、送付された資料は返送いたしません。

(1) 大学で物理実験の経験がありますか？

(2) (1)で「はい」と回答された場合、一番印象に残った実験は何ですか？どのような点で印象に残ったのですか？

(3) あなたが持っている天文学への想い・イメージについて何でも結構ですのでお書きください（600字以内）

(4) 実習に参加希望の理由は何ですか？（600字以内）

7. 選考結果：5月初旬頃、郵便で発送 ※6の住所以外への発送を希望する場合は発送先を明記のこと

8. 応募先・お問い合わせ先：

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2

国立天文台野辺山宇宙電波観測所「観測実習係」

※封筒には「観測実習応募書類在中」と朱書してください

Tel: 0267-98-4332

URL: <http://www.nro.nao.ac.jp/~nro45mrt/misc/45school.html>

茨城大学宇宙科学教育センター／ 国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局 第5回【公開天文台】のお知らせ

日立市と高萩市にまたがってある32 mパラボラン

テナ2基は、衛星通信アンテナから電波望遠鏡への改造がなされ、国際的にも優れた天文学研究の成果を上げ始めました。子どもたちを含め、多くの地域のみなさんに、宇宙の科学に親しんでいただきたいと考え、今年度も公開天文台を開催することとなりました。

日時：2014年4月13日(日) 11～15時(雨天決行)

場所：茨城県高萩市石滝627-1

(さくら宇宙公園内)

茨城大学 宇宙科学教育研究センター

国立天文台 水沢VLBI観測所茨城観測局

主催：茨城大学

共催：国立天文台

後援：高萩市教育委員会、高萩市観光協会、日立市教育委員会、日立市観光協会

協賛：茨城県北ジオパーク推進協議会

内容：パラボラアンテナ施設見学、講演「抜群にいい視力で見る宇宙」
(松本尚子 [国立天文台水沢VLBI観測所研究員]) (13:30～15:00)

受付：施設見学は開催時間中随時受付
講演会は先着100名 13:00～受付

参加料：無料

アクセス：①鉄道：JR常磐線高萩駅下車

1) 会場まで徒歩 約30分

2) バス利用：高萩駅発いぶき台団地行、明秀学園高萩キャンパス前(約8分)下車、徒歩5分

②乗用車：常磐自動車道 高萩インター 高萩市街方面約15分9km、明秀学園高萩キャンパス前を山側住宅街に曲がり1km先

駐車場：無料 普通車約300台駐車可(当日は混雑が予想されます)

注意：アンテナ見学は動きやすい服装、靴で参加ください。

その他：当日は高萩市「桜まつり」の開催期間中です。公開天文台と同時に、さくら宇宙公園のさくらもお楽しみください。

問い合わせ：茨城大学 宇宙科学教育研究センター
〒318-0022 茨城県高萩市石滝627-1
(開館は10時から17時、臨時休館あり)
Tel: 0293-24-9516 Fax: 0293-24-9517
e-mail: infoast@ml.ibaraki.ac.jp
URL: <http://www.asec.ibaraki.ac.jp/>

会務案内

2013年度日本天文学会各賞について

2013年度日本天文学会各賞は、2014年1月26日の代議員総会で次のように決定し、春季年会会員全体集会の場で授与されます。

◇天体発見賞〔5氏1グループ(2氏)20件〕

- ・坪井正紀(つばい まさき)氏
超新星2013Cの発見、超新星2013fbの発見
- ・西山浩一(にしやま こういち)氏、椛島富士夫(かばしま ふじお)氏
新星ケフェウス座V809の発見、新星さそり座V1533の発見
- ・岩本雅之(いわもと まさゆき)氏
彗星C/2013 E2(Iwamoto)の発見
- ・菅野松男(すがの まつお)氏
超新星2013 amの発見
- ・板垣公一(いたがき こういち)氏
超新星2013buの発見、超新星2013ccの発見、新星いるか座V339の発見、超新星2013faの発見、超新星2013fsの発見、新星わし座V1830の発見、超新星2013geの発見、超新星2013gnの発見、新星へび座V556の発見、超新星2013hgの発見、超新星2013hlの発見、超新星2013hqの発見、超新星2013huの発見
- ・嶋 邦博(しま くにひろ)氏
超新星2013gvの発見

◇天体発見功労賞〔1氏 1件〕

- ・後藤邦昭(ごとう くにあき)氏
超新星2013dyの独立発見

◇天文功労賞 [2氏 3件]

長期的な業績

- ・堀川邦昭 (ほりかわ くにあき) 氏
「長期に及ぶCMTによる木星面諸現象のドリフトの定量的観測の継続」

短期的な業績

- ・佐藤英貴 (さとう ひでたか) 氏
「LINEAR彗星 (C/2012 X1) のアウトバースト検出」

◇研究奨励賞 [3氏]

- ・小島崇文 (こじま たかふみ) 氏: 国立天文台先端技術センター・助教
研究の表題: 「ALMA Band 10低雑音SISミキサの研究開発」
- ・當真賢二 (とうま けんじ) 氏: 東北大学国際高等研究教育機構学際科学フロンティア研究所・助教
研究の表題: 「ガンマ線バーストの偏光と相対論的ジェットの研究」
- ・成田憲保 (なりた のりお) 氏: 国立天文台太陽系外惑星探査プロジェクト室・特任助教
研究の表題: 「トランジット法による系外惑星の成り立ちの研究」

◇林 忠四郎賞 [1氏]

- ・山本 智 (やまもと さとし) 氏: 東京大学大学院理学系研究科・教授
研究の表題: 「星間分子雲の化学進化概念の確立と星形成過程の解明への貢献」

◇欧文研究報告論文賞 [2編]

- ・論文題目: The MAXI Mission on the ISS: Science and Instruments for Monitoring All-Sky X-Ray Images
著者: Masaru Matsuoka et al.
出版年等: Vol. 61 (2009), pp. 999-1010.
- ・論文題目: First Evidence of a Retrograde Orbit of a Transiting Exoplanet HAT-P-7b
著者: Norio Narita et al.
出版年等: Vol. 61 (2009), pp. L35-L40.

公益社団法人日本天文学会 2014年度 (2014年4月1日～2015年3月 31日) 事業計画書と予算書

2014年1月26日(日)に開催された代議員総会で2014年度の事業計画書と予算書が承認されましたので、お知らせいたします。事業計画書と予算書は電子版で天文学会ホームページ上 (<http://www.asj.or.jp>) で公開しております。書面による配付を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務所までご連絡ください。

公益社団法人日本天文学会 2014年度事業計画書の概要

事業計画はおおむね例年どおりで、欧文研究報告、天文月報、年會予稿集、ジュニアセッション予稿集の刊行、各種委員会活動、全国同時七夕講演会、各賞の授与、助成金、後援事業に関する事業を行う予定です。また、2014年度は会長選挙 (2015～2016年度の2年任期) を行います。会員名簿 (隔年発行) の発行も予定しております。

公益社団法人日本天文学会 2014年度予算書の概要

本年1月より欧文研究報告の製作と販売をOxford University Pressに委託したことに伴い、予算の細目に「欧文研究報告外注費」および「欧文研究報告宣伝費」を追加しました。また、学会ホームページ更新のために広報活動経費として200万円、会員名簿作成のために印刷製本費100万円を計上しています。その他はおおむね例年どおりの予算になっており、会費収入4.1千万円、支出は学会の経費2.0千万円 (共通事業+法人会計、会員名簿作成を含む)、天文月報1.2千万円、欧文研究報告400万円、その他の事業400万円 (公開講演会、ジュニアセッション、天体発見賞、広報活動経費等) を見込んでいます。

(文責庶務理事: 中村文隆, 会計理事: 熊谷紫麻見)

欧文研究報告 (PASJ) の新体制について

既に月報やTENNETでお知らせしておりますとおり、欧文研究報告 (PASJ) は、2014年発行の66巻よ

り Oxford University Press (OUP) へ製作と販売を委託することになりました。

今回の移行に先んじて2013年9月からは以前より多くの要望がありました投稿査読システム (ScholarOne) の利用を開始しております。これを機会に紙面や表紙デザインを刷新するとともに、doi番号の付与、電子版の早期公開 (Advance access) の開始などにより利便性の向上を図っています。電子版の公開サイトも多くの論文誌を掲載している Highwire に移行しました (<http://pasj.oxfordjournals.org>)。これにより、掲載図からの PowerPoint ファイル生成、MathJax を用いた数式表現および数式の LaTeX/MathML への output 機能装備など、見やすさおよび機能性が大幅に改善されます。学会正会員の方の電子版閲覧に際しては、新たにアカウント設定を行っていただく必要があります。なお、最新号のフリーアクセス化のサービスは今後行われません。

著者の方々には、この移行により著者校正、著作権譲渡同意や掲載料支払の手続きも電子化されるとともに OUP との間でお手続きいただくことになりました。

掲載料等につきましては、本文掲載料の単価は暫くの間会員種別にかかわらず4,300円になります。カラー印刷および別刷の単価は従来どおりです。しかしながら、Open access の費用が大幅な値上げとなります。Open access (Oxford Open) 論文については、出典元情報を表示したうえで著者による許諾なしに、商業目的を含み自由に複製や配布、二次的著作物の作成が認められており、著者が自身の論文電子版を自由に利用することができます。

新しい体制下での刊行は始まったばかりで、まだ何

かと不案内なことが多く特に著者の方々にはご迷惑をおかけするかもしれませんが、引き続きよろしくお願いいたします。

(欧文研究報告編集長 茂山俊和)

OUP 電子版購読番号のお知らせおよび新しい PASJ 電子版サイトのアカウント設定のお願い

PASJ は2014年 (66巻) より Oxford University Press へ制作委託先が移行したことに伴い、66巻以降の電子版 URL も変わりました。

新電子版 URL: <http://pasj.oxfordjournals.org/>

今後、新しいサイト上でアクセス制限のかかったコンテンツを閲覧するには、新たにアカウントの作成および購読の設定をしていただくことになりました。

従来のサイトで設定していただいたアカウント情報は引き継がれません。お手数ですが、天文月報4月号 (本誌) と5月号 (4月20日発行) および PASJ 紙版の発送ラベルに記載の購読番号をご確認のうえ、以下の WEB ページにあります案内に沿ってお手続きください。本会にメールアドレスを登録されている方へは個別にメールでも購読番号をお知らせしております。

<http://pasj.asj.or.jp/member.html>

尚、2013年9月以降に新規入会または正会員へ移籍された方につきましては購読番号の発行手続中のため、完了次第個別にご連絡いたします。何かご不明な点がありましたら欧文研究報告編集係へお問い合わせください。

(欧文研究報告編集係)

天文月報オンライン/投稿用アップローダーの ID とパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol98** (5文字) の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 市来浄興, 大栗真宗, 勝川行雄, 富永 望, 平松正顕, 廣田朋也, 馬場 彩, 前野将太, 町田正博, 吉田二美

平成26年3月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8

株式会社 国際文献社

定価700円(本体667円)

発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2014年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)